
ハイテンションな鬱病患者

メネ@分家

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハイテンションな鬱病患者

【Nコード】

N91960

【作者名】

メネ@分家

【あらすじ】

「彼」は鬱病だ。ただし、テンションは躁病よりも高いのであった。

（前書き）

微妙に前よりは長いです。が、相変わらず短いのでご安心ください（何に對して？

一応血のようなものが出てた（気がする）ので苦手な人はお気を付けてください。

ああ、連載形式で書いた方がいいのかなあ？

彼は、非常に異常で奇妙な人間である。しかも困った事に、彼自身はその事を一切自覚しておらず、常に真面目に妙な事を考えているのだ。それが周りの人間にどう映っているかは別として、だが。

その彼の現在地は、屋上。学校の屋上の、詳しくすれば縁の外側だ。一步踏み出せば地面へと真つ逆様に転落し、運が悪ければ脳天をコンクリートにぶつけて人生をログアウトするであろう。余談ではあるが、彼は本日をもって屋上通いが連続百回を記念した。さらに言つと高校に入ってから皆勤賞である。

極めて危険な場所に堂々と立つ彼は、医者の診断によるとどうやら鬱病らしい。

「ああ……。どういう事だ、なぜ僕は生きている！ 何の為に？ 僕の為なのだとしたら、それは見当違いも甚だしい！ ああ、生きる事は疲れる事だ！ 疲れる事は恐れるべき事だ！ 恐れから逃れる方法はただ一つ、人間としての人生を強制的に終了させる事！ しかし僕は人間を気に入っている、だからその方法は好ましくない！ だが僕は人間の人生が嫌いだ！ ああ、どういう事だ！？ 僕は一体何を考えて何を言つて何を叫んでいるんだ！」

もう一度言おう。彼は鬱病である。

「人間としての人生を送ってきたからには、人間としての行動は許される筈だ！ いや許される！ たぶん！ だから僕は人間として選択を運に委ねる！ ああ、そんな事をしては運を司る者に失礼ではないか！？ だとしたら、僕は運を認める事すら許されていないのか！ なんとという事だ、僕は今まで自分を人間と認めていたが、それは違うのか！？ 僕は何だ！ 誰だ！ 宇宙人！？」

くだいようだが、鬱病である。

一般的な症状との差異は、おそらくテンションだけ。つまり、彼

はハイテンションでありながら鬱病という、一見相反するかのよう
な病人なのだ。ただ愛憎を同時に持つ事ができるという事例から、
これもアリなのだろう。アリなのだ。たぶん。

「もういい、考える事すら鬱陶しい！ 待て、鬱陶しいのは僕か？
僕なのか！？ ああああ、こうなれば僕は運ではなく世界に身を
委ねよう！ きっと全てを内包する世界なら、この僕ですら内包さ
れるに違いない！」

もはや何を言っているかわからないだろうが、彼は真面目だ。

どこぞの宗教団体に洗脳されたかのような変人っぷりだが、彼は
真剣である。

「よし、決めた！ この記念すべき日を、飛び降りて表現しようじ
やないか！ そうだ、賭け、賭けをしよう！ 世界を相手にした賭
けだ！ 僕がここから飛び降りて、無事に死んだら僕の勝ち！ 残
念な事になるけど骨折だけで済んだら世界の勝ちだ！ ああ、なん
という賭けをしたんだ僕は！ こうして世界に向けて言い放った手
前、もう引き返せない！ もし引き返したら世界に怒られる！」

別に世界は何も言わないと思うのだが。引き返せば、むしろ嬉し
いくらいだろう。

「それにしても、なんだこの賭けは！ たとえば死んだら僕の勝ち
だが、人生的には負けじゃないか！ だけど骨折じゃ人生的には良
いかもしれないが、僕の負けになる！ どうしよう！？ 命綱でも
付けるか！？ 骨折せずに生き残ってみるか！？ ……ああ、考え
るのはもう飽きた！ 死ぬか骨折してから考える事にしよう！」

そうして彼は飛び降りた。

実に簡単に、躊躇う事無く飛び降りた。空中でぐるぐると回転
し、減速もせず、ただ灰色の地面に向かって落ちていく。

ところで、コンクリートってのは灰色と言っても黒に近いだろう。
だから赤色っていうのは結構映えると思うんだが、どう思う？

「おい、アイツ、また飛び降りたつてよ」

「ああそうか、もうそんな頃か。毎年毎年、よく飽きないよなあ」

「そうだな。けどさ、毎回百回目の時に飛んでるだろ。やっぱ数えてんのかねえ」

「んー、カレンダーに印でも付けてるんじゃないかな。あーそうそう、今回はどうだったんだ？」

「頭割れて即死だったさ」

「ふーん、と軽い相槌を打つ男子。「彼」の話は、そこであっけなく途切れた。」

「帰りにコンビニ寄っていかね？ 新作のプリンが出たんだよ」

「プリンとか女かよ、ありえねえ」

放課後の教室が夕暮れに染まり、他愛もない喧嘩が始まった中。

コンクリートに横たわる「彼」の遺体も、橙に輝く夕日に照らされていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9196o/>

ハイテンションな鬱病患者

2010年11月14日23時50分発行